

大規模テロ災害対処訓練の実施について

東京都は、11月9日、大規模テロ災害を想定した訓練(図上、実動)を、都庁第一本庁舎と大井競馬場で実施した。

この訓練は、東京都国民保護計画に基づいて実施する国民保護訓練である。テロ災害を対象とする実動訓練は、昨年に引き続き2回目で、区の国民保護計画策定後、区と連携した初めての訓練となった。(都は、平成17年度に国民保護計画を策定、区市町村は、平成18年度に国民保護計画を策定)

今回は、複数の都内大規模集客施設において化学剤散布やダーティボムによる連続テロが起き、大規模な被害が発生するというシナリオで行われ、都の関係14局ほか警視庁、東京消防庁など、合計28機関920人が参加した。

大規模集客施設である大井競馬場では、爆発物処理訓練と化学剤散布救出救助訓練が実施された。爆発物処理訓練は、警戒中の警察官及び警備犬が爆発物らしき不審物を発見し、爆発物の確認や処理、現場警察官による観客の避難誘導が行われた。

化学剤散布救出救助訓練は、テロリストがペットボトルに入った化学剤を観客席に散布し、観客要員約350名のうち、約50名が被災。その後、東京消防庁化学機動部隊や、警視庁NBC部隊などが駆けつけ、被災者の救助・救護が行われた。また、場内では除染テントが設置され、重症の被災者には水的除染が行われるという、緊迫した雰囲気の中で活動が展開された。



化学剤を散布するマスク姿のテロリスト



被災者の救出作業を行う



テントの中で被災者の除染作業を行う化学機動中隊

訓練概要

(1)目的

テロ災害発生時における各機関の対応について訓練し、状況判断能力の向上及び各種調整・措置要領の習熟を図るとともに、来年の洞爺湖サミットを控えテロ災害への備えを強化する。

(2)実施日

平成19年11月9日(金)

2 訓練会場・時間

(1)図上訓練

会場:都庁第一本庁舎9階

時間:午前9時30分から午後5時まで

(2)実動訓練

会場:大井競馬場(品川区勝島2-1-2)

時間:午前10時から午後12時まで

3 参加機関・人員

(1)参加機関:28機関

(2)参加人員(合計約920人)

- 図上訓練:約160人
- 実動訓練:約760人

4 訓練内容

1. 東京都、関係区、関係機関及び関係事業者の連携
2. 警戒区域の設定、退避の指示の発出
3. 被害者の救出・救助
4. 住民等の避難措置
5. 医療機関・避難場所の確保

5 参考

(1)本訓練による成果は、「東京都NBC災害対処マニュアル」の見直しや国民保護施策に反映させる予定。

(2)東京都がこれまで実施した大規模テロ災害対処訓練は、以下の通り

1. 平成15年12月1日 生物テロ(天然痘)
2. 平成16年11月30日 化学テロ(サリン)
3. 平成17年11月30日 放射能テロ(ダーティボム)
4. 平成18年11月10日 爆弾及び化学テロ(サリン)